

4月29日：休暇前に小幅な動き

ベトナム株は水曜日にわずかな上昇、市場には不透明感が残ったままで休暇を前にして小幅な動きにとどまった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.25%高の769.11ポイントで取引を終えた。

同指数は月曜日と火曜日には1.22%ほど下落していた。

ハノイ取引所のHNX指数は0.54%高の106.84ポイントで取引を終えた。こちらも0.66%下落していたが反発をした。

出来高は3億230万株で売買代金にして4.55兆ドンほどであった。

2億5900万株、3.63兆ドンが相対取引で取引された。

ベトナム株は木曜日と金曜日は祝日のため休場となった。4月30日は南北統一45周年となり、5月1日はメーデーとなった。

ベトナム株式市場は2営業日連続の下落から反発した。銀行、エネルギーセクターが相場を牽引した。それら2つの指数はそれぞれ1.6%と2.4%上昇した。

大きく上昇したのは、ベティンバンク (CTG)、ペトロベトナムテクニカルサービス (PVS)、ペトロベトナムドリリング (PVD)、ペトロベトナムコーティング (PVB)、ベトコムバンク (VCB) などであった。

それらの銘柄は1.5-8.5%ほど上昇した。

WTI原油先物指数は14.2%上昇し14ドルに達した。そのことがベトナムのエネルギー関連銘柄を押し上げることになった。

その他のセクターで上昇したのは、小売、ゴム、運輸、輸送などであった。

しかし、水産加工、飲食料品、ヘルスケア・医薬品、農業などは下落し相場を押し下げた。

外国人投資家は5000億ドンを売り越した。

VN 指数と HNX 指数の両指数が揉みあっているということは、投資家は潜在的なリスクに対して依然として警戒しているということを示している。サイゴンハノイ証券はデイリーレポートで語った。

流動性は前日よりも増加したが、20 営業日の平均よりは下であった。投資家は休暇前に参加を控えているようだった。

5 月限の VN30 指数先物は 8.5 ポイント上昇し、702.50 ポイントで取引された。しかし、現物よりも依然として 12.83 ポイント低い水準になっている。

投資家は調整局面を恐れているようである。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。